

予 算 要 求 資 料

令和4年度6月補正予算

支出科目 款：農林水産費 項：林業費 目：県産材流通対策費

**事業名 東京オリンピック・パラリンピック県産木材
ブランド力活用事業費**

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 県産材流通課 販路拡大係 電話番号：058-272-1111(内3015)

E-mail：c11545@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 54,220 千円 (現計予算額： 5,957 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|------------|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|--------|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 現 計 予算額 | 5,957 | 2,707 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,250 |
| 補 正 要求額 | 54,220 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 45,500 | 8,720 |
| 決定額 | 54,220 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 45,500 | 8,720 |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

2021年に開催された東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、メイン会場となる新国立競技場をはじめ、選手村ビレッジプラザで県産木材が活用され、本県の優れた木材資源と加工技術を国内のみならず海外に向けてPRを行うことができた。

選手村ビレッジプラザの施設解体後、返却される提供木材をレガシーとして効果的に後利用することで、東京オリ・パラ参画の証としてその魅力をPRし地域ブランド力の向上を図り、県産材の利用拡大につなげる必要がある。

このため、県と6市町村及び県・民間企業・団体に構成する「岐阜県「東京オリ・パラ」県産木材利用促進協議会」と連携し、提供木材の後利用を活かした県産材の効果的なPRについて検討する。

また、東京オリ・パラの採用実績を活かし、国内外での県産材の販路拡大に取り組んでいく必要がある。

(2) 事業内容

①後利用に係る打合せ・検討会開催等経費 (328千円)

- ・東京オリ・パラ組織委員会や関係団体との打合せ等にかかる経費
- ・協議会の運営等に係る経費
- ・後利用に係る検討会開催等経費

- ②選手村ビレッジプラザ提供木材の運搬管理経費 (3,444千円)
 ・選手村ビレッジプラザ返却木材にかかる後利用に供するまでの間の保管・品質管理に係る経費。また、劣化木材の処分費
- ③県産木材東京オリ・パラ施設採用実績活用事業費 (2,185千円)
 ・首都圏における非住宅建築物の木材需要を取り込み、県産材の更なる販路拡大を図るため、首都圏の設計者等と県内木材供給事業者による県産材の展示・商談会を開催する。
- 【拡】④後利用活用経費(54,220千円)
 ・県有施設に返還木材を活用した東屋を設置 (50,600千円)
 ・県有施設に返還木材を活用したベンチを設置(1,848千円)
 ・返還木材を活用したおもちゃ等を製作(1,772千円)

(3) 県負担・補助率の考え方
 県10/10

(4) 類似事業の有無
 無し

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|-------|--------|---|
| 報償費 | 42 | 協議会関係 |
| 旅費 | 278 | 協議会関係、業務旅費 |
| 需用費 | 60 | 消耗品費、会議費、(追加)返還木材活用物品製作 |
| 役務費 | 7 | 郵便、電話 |
| 委託料 | 9,154 | 提供木材の保管管理業務、展示・商談会開催業務 (追加)ベンチ・おもちゃ等製作 |
| 工事請負費 | 50,600 | 東屋の整備 |
| 使用料 | 36 | 協議会等会場借上料 |
| 合計 | 60,177 | |

決定額の考え方

| |
|--|
| |
|--|

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

県産材の販路拡大は第4期岐阜県森林づくり基本計画において「都市の木造化・脱炭素社会補実現に向けた県産材の需要拡大」に位置づけられている。

(2) 後年度の財政負担

無し

(3) 事業主体及びその妥当性

選手村ビレッジプラザへの木材提供事業は、県先導のもと行ってきたものであることから、後利用についても県が主体となって、関係市町村・団体と連携して進めていく必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

東京オリンピック・パラリンピック競技大会終了後、選手村ビレッジプラザへ提供した木材を、本県の大会参画の証として後利用することにより、同時に県内外へその魅力をPRし、県産木材のブランド力の向上と販路拡大につなげる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R2) | R2年度 実績 | R3年度 目標 | R4年度 目標 | 終期目標 (R8) | 達成率 |
|---------------------------------|---------------|------------|------------|------------|--------------|-----|
| | | | | | | |
| ①県内における県産材需要量（千m ³ ） | 425 | 425 | — | 481 | 606 | |
| ② | | | | | | |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|---|
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> 「岐阜県『東京オリ・パラ』県産木材利用促進協議会」会員企業が営業活動でPR WOODコレクション2020inあいち（R2. 11. 21～22 愛知県）等各種展示会でPR 非住宅建築物の木造化に向けた低コストマニュアル・事例集への掲載 台湾オンラインセミナー&商談会（R2. 10. 31 岐阜市）でPR 台北国際建築建材及び産品展（R2. 12. 10～13 台湾台北）でPR |
| 令和3年度 | <p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p> |
| 令和4年度 | <p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p> |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|--|
| <p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p> | |
| (評価) 3 | <p>東京オリンピック・パラリンピックは国内のみならず全世界が注目するイベントであり、その代表的な施設である選手村ビレッジプラザの建材として用いられた県産木材の効果的な後利用は、地域ブランドとしてのPR効果が図られ、波及効果は非常に大きい。</p> |
| <p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p> | |
| (評価) 1 | <p>選手村ビレッジプラザの提供木の後利用は現在検討中であることから、まだ効果が得られていない。</p> |
| <p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p> | |
| (評価) 2 | <p>後利用検討に係る費用等、必要最小限の経費を計上しているが、返却された提供木材を効果的に後利用されれば、東京オリ・パラの参画の証としてだけでなく、県産木材のブランド力の向上及び利用拡大などの効果が見込まれる。</p> |

(今後の課題)

| |
|--|
| <p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 東京オリ・パラ参画の証 (ウッドレガシー) として県産木材の魅力を長期にわたってPRしていく必要がある。</p> |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 選手村ビレッジプラザの提供木 (ウッドレガシー) の効果的な活用等を通して、県産木材のPRをするとともに、国内外での販路拡大につなげる。</p> |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------------------|-------|
| <p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p> | 【〇〇課】 |
| <p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p> | |